

学校だより



ひびきあい

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamiterao/>

横浜市立上寺尾小学校

令和8年5月29日

TEL585-2961

「運動会で学ぶこと」

副校長 角野 義宏

いよいよ明日は、運動会です。今年度の運動会スローガンは『一致団結 燃えろ赤組！轟け白組！協力あふれる上寺尾』です。子どもたちは、これまで約一か月間、学年の練習はもちろん、応援団や係での準備など、それぞれの役割を果たしながらよりよい運動会にしようと活動してきました。私も明日の子ども達の活躍がとても楽しみです。

さて、運動会といえば、私自身の6年生の時のことを思い出します。私は、騎馬戦の騎手になり、さらには、赤組の大將騎にも選ばれました。大將騎は、学年でも一番体の大きな子がいる最強の騎馬でした。当然、練習の時から、連戦連勝で、本番の日も当然、自分が優勝すると思っていて、始まる前から勝ち名乗りまで考えていました。ジャカルタ日本人学校の運動会は、小中合同開催だったのでおよそ児童1000人・保護者2000人が注目する中、太鼓の合図とともに騎馬戦が開始されました。（そのころ父の仕事の関係でインドネシアに住んでいました。）私の騎馬は順調に勝ち残り、残すは緑組の大將との一騎打ちのみとなりました。練習では、何度も勝っていた相手だったので、簡単に勝てるなと思っていました。「ドン！」と開始の合図の太鼓がなり、組み合った瞬間、相手の体が沈み込み、下から手が伸びてきて、頭の札を取られました。そうです、私は負けたのです。負けるはずがないと思っていた相手にあっけなく負け、頭の中が真っ白になりました。騎馬を降りた後、申し訳なさとお恥ずかしさで、うつむいて座っていると騎馬のメンバーが、「高く支えられなかった」や「強く押していなかった」などと口々に言いながら来て、負けたのは私のせいではないと声を掛けてくれました。そこに、様子を見ていた当時の担任の先生も来て「悔しいだろうけど、負けたことで人馬一体の最強の騎馬になったんじゃないかな。」と言ってくれました。その時に掛けられた言葉で、本当に救われ、立ち上がることができました。負けることで得た、この経験が今でも私の中で大きな教訓となっています。

他者と競い合うことで得られる価値・学びの一つは、勝敗も含めて成長する過程として受け入れること、勝敗を恐れずにチャレンジしていけるメンタリティーをもつようになることだと思います。ただ、そのためには、そばにいる人が「悔しいね」「いいチャレンジだったよ」などと共感してくれることが必要です。結果だけではなく、毎日の行動や努力を認めたり、ほめたりすることで、次のチャレンジに向かう力が湧き起こってくるのだと思います。子どもが思った結果を出せなかった時こそ、たくさんほめて認めてあげましょう。

明日の運動会でも当然のことながら、勝った組、負けた組があります。でも、どの組も練習から目標に向かって力いっぱい活動していました。競い合う中で、たくさんのお話を学んだことでしょう。私は、そんな子どもたちの次の目標が何になるかが楽しみです。そして、子どもたちの目標を引き続き応援していきます。

